



コロナで加速した
就職意識の変化と潮流は？

行列FP 林健太郎

By 林FP事務所

就職意識の変化

1. どんな企業も、大企業であれ安定はない
 - 特にコロナ後は売上激減、激動
2. もともと変化の流れはあった
 - 戦後を支えたものづくり業界（電機、重工、自動車等）、金融業界の人気はコロナ以前から落ちていた
3. コロナで加速した？企業を選ぶ→自らのスキルを向上させる、に変化した
 - 自身の市場価値を上げる
 - 自ら選ばれる、稼ぐ力を身につける

大企業でも安定はない

■ リーマンショック(2008)

- リーマンショック前→電機、重工などの製造業
リーマンショック後→食品など身近な製造業へ
- 金融業界への人気は下落
- 時代と共に人気はうつろう。安定した特定の大企業というのではない。

■ コロナ(2020)

- 就職先人気ランキング上位常連のJTが陥落
→またしても安定した企業が無いことを強烈に印象付けた
- 社会も短期間で大きく変化した
→通勤ラッシュからテレワーク等
→ルート営業は機能しなくなった（もともとそれほど機能してなかったけどそれが明確になった）
- 一体なにを信じればいいのか...

企業ではなく「個」へ向かう意識

- 企業に養ってもらうのではなく、企業で自分を磨く
 - 1社終身雇用（養ってもらう仕組み）はとっくに終わっている
 - 転職、独立は否応無しにますます活発になっていくだろう
- 安定した組織がない以上、これからは自分で自分を養うことが大事
 - 頼るものがなければ、個人のスキル、経験だけが頼り
 - たとえリストラされようと声がかかるだけのスキルがあれば食いつぶぐれない
 - 自分でビジネスをして稼げれば怖いものなし
→副業でもいいので今すぐ始めよう

「天は自らを助くるものを助く」
“God helps those who help themselves.”

特にコロナ後は自分自身のスキルや経験値を
貪欲に高めていく意識と行動が大事！

無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所